

出力制御ユニット
DataCube2-C

Ver1.0

取扱説明書

はじめに

このたびは、計測端末「DataCube2-C（データキューブ ツーシー）」をご利用いただき誠にありがとうございます。本取扱説明書は、「DataCube2-C」の概要、使い方、機能について記載しております。

ご利用の前によくお読みいただき、本製品を正しくご利用ください。

本取扱説明書の構成

本取扱説明書の構成は、下記の通りです。

- ・ **DataCube2-C について**

DataCube2-C の概要について記載しています。

- ・ **基本的な使い方**

DataCube2-C の基本的な操作方法を記載しています。

- ・ **Web 画面について**

DataCube2-C は PC と接続することで、

計測データの確認や計測条件の設定を行う「Web 画面」の閲覧ができます。

本項目では Web 画面の構成や、画面上で設定可能な項目について記載しています。

注意事項

- ・ 本取扱説明書記載の表示画面は、説明用に作成したものです。
- ・ 本取扱説明書の一部または全部を弊社に無断で複製、転載あるいは引用することを禁止します。
- ・ 本取扱説明書の内容は、予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

免責事項

- ・ 火災、地震、水害、落雷その他天災地変、使用者の故意又は過失、誤使用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 本製品の使用又は使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、データの消失・毀損等）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 本製品または接続製品内に蓄積された計測データが消失・破損・欠測した場合、トラブル要因に因らず、当該データを復元する義務を負いません。また、これらによって生じる如何なる損害に関しても、弊社は一切の責任を負いません。

目次

1. DataCube2-C について	1
1.1. DataCube2-C とは？	1
1.2. 各部名称と機能.....	2
2. 基本的な使い方	3
2.1. DataCube2-C を起動する.....	3
2.2. DataCube2-C を終了する.....	3
2.3. DataCube2-C を再起動する.....	3
2.4. 計測データ (CSV) の保存 (USB メモリ自動保存)	4
2.4.1. 日報・月報・年報データの保存について (オプション)	4
2.4.2. 1 分値データの保存について	6
2.5. 機能概要	8
3. Web 画面について	9
3.1. 初めに	9
3.1.1. DataCube2-C と PC を接続する (ノート PC の場合)	9
3.1.2. ノート PC の IP 設定	10
3.1.3. ログインする.....	11
3.1.4. 基本設定.....	12
3.1.5. 発電所 ID を確認する	13
3.1.6. ネットワーク設定が正しく設定されているか確認する	13
3.1.7. 機器間の通信が行えるか確認する	14
3.1.8. ログアウトする	14
3.2. 計測データを閲覧する	15
3.2.1. 瞬時値テーブル.....	16
3.2.2. 1 分値テーブル	17
3.2.3. 1 時間値テーブル.....	18
3.2.4. スケジュール.....	19
3.2.5. 通信ログ.....	20
3.3. データを CSV で出力する.....	21
3.3.1. CSV ダウンロード	21
3.4. 各種設定を行う	22
3.4.1. 時刻設定.....	23
3.4.2. 基本設定.....	24
3.4.3. ネットワーク設定	24
3.4.4. 計測設定.....	25
3.4.5. 制御設定.....	26

3.4.6. 機器情報設定	27
3.5. 再起動	28
3.5.1. 再起動	28
4. その他機能	29
4.1. ネットワーク設定リセット機能	29

1. DataCube2-C について

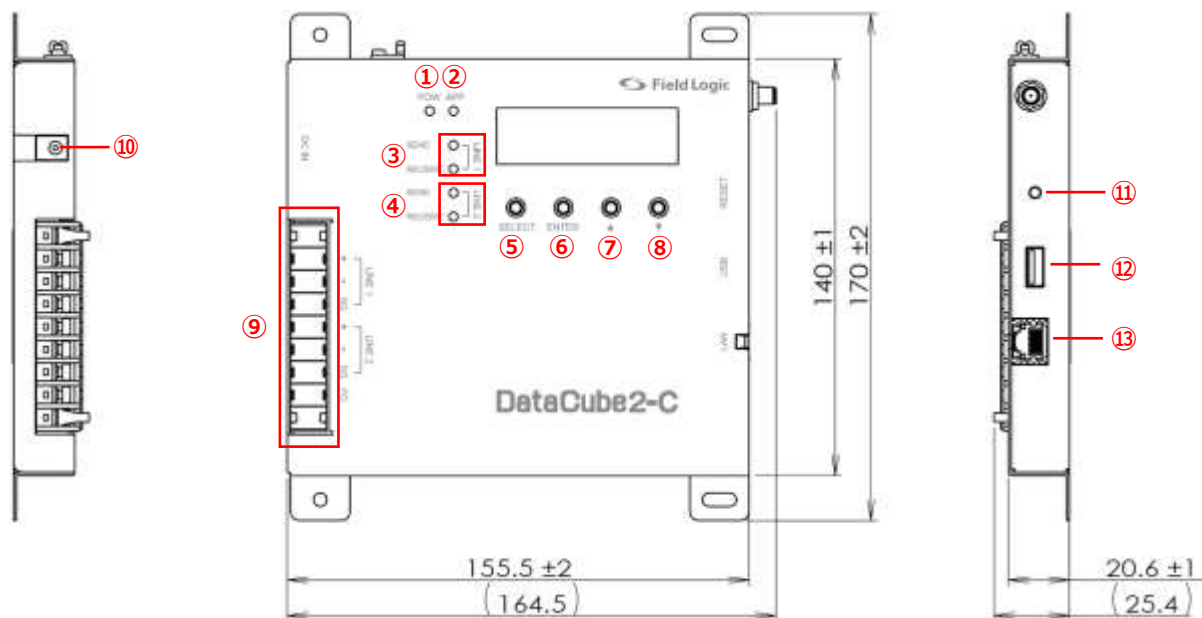
1.1. DataCube2-C とは？

「DataCube2-C」は、各種発電データの計測に加え、PCS（パワーコンディショナ）の出力制御機能を備えた計測ユニットです。



1.2. 各部名称と機能

DataCube2-C で使用する計測端末の各部名称と機能は以下の通りです。



左側面

上面

右側面

No	名称	内容
①	POW ランプ	電源に接続した場合に点灯します。
②	APP ランプ	内部アプリケーションの状態を示します。 (起動中、終了処理中に点滅)
③	LINE1 ランプ	各端子台 (LINE1/LINE2) に接続した PCS とのデータ送受信時に点滅します。
④	LINE2 ランプ	
⑤	Select ボタン	IP アドレスリセット時に使用します。
⑥	Enter ボタン	
⑦	▲ボタン	使用しません。
⑧	▼ボタン	
⑨	端子台部	RS-485 通信線を接続する端子です。
⑩	電源線接続部	AC アダプタや直流電源配線を接続します。
⑪	リセットボタン	電源 OFF、リセット時に使用します。
⑫	USB ポート	USB メモリの接続に使用します。 ※キーボード、マウスには使用できません。
⑬	LAN ポート	LAN ケーブルの接続に使用します。

2. 基本的な使い方

DataCube2-C の基本的な使い方について解説します。

2.1. DataCube2-C を起動する

電源供給元を電源コンセントに接続すると、計測端末が起動します。(POW ランプが点灯します。) 起動後、システムのウォームアップが開始されます。ウォームアップ中は APP ランプが点滅します。

※ウォームアップには 30 秒前後かかります。

2.2. DataCube2-C を終了する

DataCube2-C を終了する場合は以下の手順により行ってください。

- ① リセットボタンを APP ランプが点滅開始するまで長押ししてください (約 5 秒)。
- ② APP ランプが点滅している状態で再度リセットボタンを押してください。
- ③ APP ランプの点滅速度が速くなり、終了処理が開始されます。APP ランプの状態が点滅から点灯に変化するまでお待ちください (約 30 秒)。
- ④ APP ランプが点灯になったのを確認してから、電源を抜いてください。

※終了手順を行わずに DataCube2-C の電源を抜いた場合、予期せぬ故障の原因となりますので、必ず上記終了手順を実行してください。

2.3. DataCube2-C を再起動する

2.2 ④で電源を抜かずに、再度リセットボタンを押してください。

DataCube2-C は再起動されます。

※再起動はこの方法と別に、Web 画面より行う方法もあります。

→ P.28 『3.5.1.再起動』を参照ください。

2.4. 計測データ（CSV）の保存（USBメモリ自動保存）

2.4.1. 日報・月報・年報データの保存について（オプション）

DataCube2-C に USB メモリを接続しておくと、前日までの日報・月報・年報データが CSV 形式で自動保存されます。

(USB メモリ直下の **report** フォルダ内に保存されます。)



※DataCube2-C に USB メモリが接続されていない場合、日報・月報・年報データが保存されません。

※USB の取り外しは深夜 3 時 00 分～4 時 00 分の間には行わないでください。

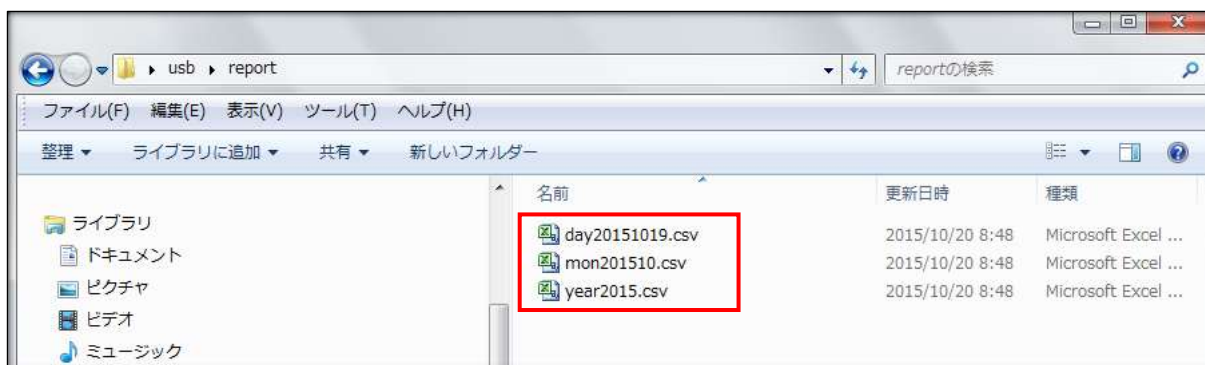
取り外しには特別な本体操作は不要です。本体から取り外して頂き、戻す際はそのまま接続してください。

前日までの日報・月報・年報データは **report** フォルダ内に以下のフォーマットで保存されます。

dayYYYYMMDD.csv (YYYYMMDD は前日の日付が入ります) / 日報データ

monYYYYMM.csv (YYYYMM は前日の年月が入ります) / 月報データ

yearYYYY.csv (YYYY は前日の年が入ります) / 年報データ



※画像はサンプルです。ファイルは稼働年月日数分存在します。

※日報・月報・年報の出力は出荷時に設定します。標準は出力しない設定になります。

Report フォルダ直下の CSV データのイメージ

※画像の赤枠内の項目は固定です。

day (日報)

year	mon	day	hour	交流電力量	直流電力量
2015	10	13	0		
2015	10	13	1		
2015	10	13	2		
2015	10	13	3		
2015	10	13	4		
2015	10	13	5		
2015	10	13	6		
2015	10	13	7		
2015	10	13	8		
2015	10	13	9		
2015	10	13	10	0	0
2015	10	13	11	228	4288
2015	10	13	12		

mon (月報)

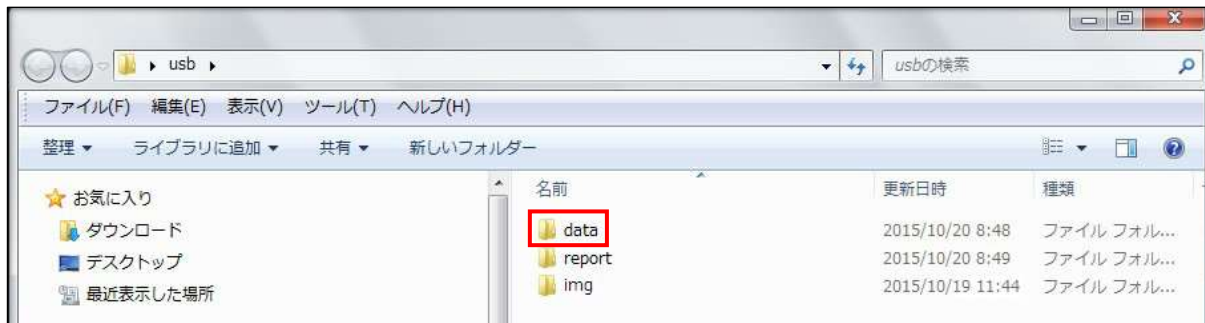
year	mon	day	交流電力量	直流電力量
2015	10	1		
2015	10	2		
2015	10	3		
2015	10	4		
2015	10	5		
2015	10	6		
2015	10	7		
2015	10	8		
2015	10	9		
2015	10	10		
2015	10	11		
2015	10	12		
2015	10	13	228	4288
2015	10	14		
2015	10	15		

year (年報)

year	mon	交流電力量	直流電力量
2015	1		
2015	2		
2015	3		
2015	4		
2015	5		
2015	6		
2015	7		
2015	8		
2015	9		
2015	10	228	4288
2015	11		
2015	12		

2.4.2. 1 分値データの保存について

DataCube2-C に USB メモリを接続しておくと、**毎日深夜 3 時 5 分**に前日の 1 分値データが CSV 形式で自動保存されます。(USB メモリ直下の **data** フォルダ内に保存されます。)



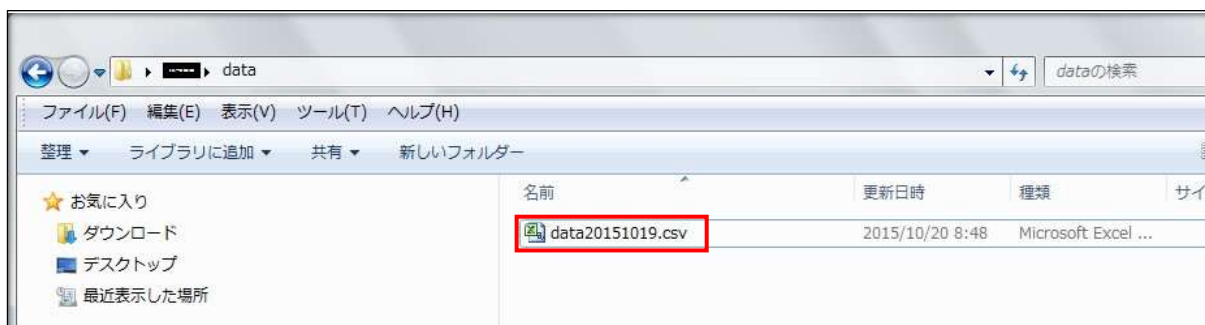
※DataCube2-C に USB メモリが接続されていない場合、1 分値データが保存されません。

※USB の取り外しは深夜 3 時 00 分～4 時 00 分の間には行わないでください。

取り外しには特別な本体操作は不要です。本体から取り外して頂き、戻す際はそのまま接続してください。

1 分値データは **data** フォルダ内に以下のフォーマットで保存されます。

dataYYYYMMDD.csv (YYYYMMDD は前日の日付が入ります)



※CSV ファイル内には、1 日分の 1 分値データが格納されています。

※画像はイメージです。ファイルは稼働日数分存在します。

1 分値 CSV データのイメージ

※赤枠内の項目は PCS により異なります。

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	datetime	text_ch	1.1_計測回数	1.1_交流電圧RS相	1.1_交流電圧ST相	1.1_交流電圧TR相	1.1_交流電流R相	1.1_交流電流S相	1.1_交流電流T相
2	2015/10/13 11:12		10	230.4	435.2	614.4	61.92	89.6	107.2
3	2015/10/13 11:18		10	256	512	768	102.4	128	153.6
4	2015/10/13 11:20		10	256	512	768	102.4	128	153.6
5	2015/10/13 11:21		10	256	512	768	102.4	128	153.6
6	2015/10/13 11:22		10	256	512	768	102.4	128	153.6
7	2015/10/13 11:23		10	256	512	768	102.4	128	153.6
8	2015/10/13 11:24		10	256	512	768	102.4	128	153.6
9	2015/10/13 11:25		10	256	512	768	102.4	128	153.6
10	2015/10/13 11:26		10	256	512	768	102.4	128	153.6
11	2015/10/13 11:27		10	256	512	768	102.4	128	153.6
12	2015/10/13 11:28		10	256	512	768	102.4	128	153.6
13	2015/10/13 11:29		10	256	512	768	102.4	128	153.6
14	2015/10/13 11:30		10	256	512	768	102.4	128	153.6
15	2015/10/13 11:31		10	256	512	768	102.4	128	153.6
16	2015/10/13 11:39		10	256	512	768	102.4	128	153.6

POINT

- USB メモリは端末右側面のポート（各部名称と機能（P.2）参照）に接続してください。
- USB メモリは、セキュリティー制御がかかっていない状態の **4GB** 以上（付属品推奨）のものをご使用ください。
- 本体には最大直近 2 ヶ月分のデータを蓄積できます。（上限を超えると、古い日時のデータから順に削除されます。）
- USB メモリを取り外していた場合、本体に接続し直すと、深夜のデータ保存時に本体内のデータと USB メモリ内のデータを照合し、自動的にメモリ内に未保存のデータが補完されます。
※ 2 か月以上前の 1 分値データは DataCube2-C 本体から削除されるため補完されません。
- 任意の日付のデータを出力する場合は、Web 画面に接続し、レポートから CSV 出力を行います。

2.5. 機能概要

DataCube2-C は以下の自動処理機能を有しており、特定のタイミングで実行します。

No	機能	実行タイミング
①	CSV 出力	毎日 3 時 5 分
②	サーバ時刻との同期	1 日 1 回、発電所 ID により決められた時刻に同期します。 ※ネットワーク環境と接続されている場合のみ

3. Web 画面について

DataCube2-C を PC と接続することで、Web 画面の閲覧が可能です。
計測データの閲覧や、各種設定変更が行えます。

3.1. 初めに

Web 画面を閲覧するための方法や、最初にご確認いただく設定などを説明しています。

3.1.1. DataCube2-C と PC を接続する（ノート PC の場合）

DataCube2-C とノート PC を LAN ケーブルで接続してください。



※ネットワーク設定の変更を実施するため、ネットワーク情報を変更可能な PC をご用意ください。

Point

DataCube2-C は、以下のネットワーク設定が出荷時デフォルトとなっています。

IP	: 192.168.1.243
サブネットマスク	: 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	: 192.168.1.1

3.1.2. ノート PC の IP 設定

Web 画面の閲覧には、ノート PC の IP 設定をする必要があります。DataCube2-C とノート PC を 1 対 1 で接続する場合、ノート PC の IP アドレスを以下のように設定してください。

IP アドレス : 192.168.1.1


(IP アドレスの第 4 オクテットは「0」「243」「255 以上」以外の任意のアドレス)

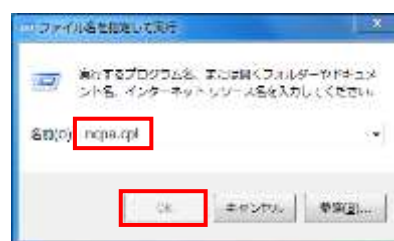
サブネットマスク : 255.255.255.0

※下記手順は、192.168.1.1 の IP アドレスを割り振る例です。

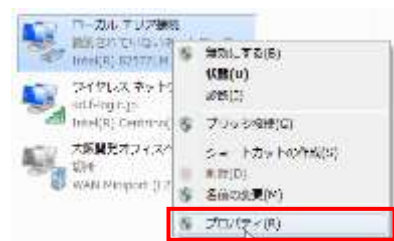
※ 1 対 1 以外の条件で接続される場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください

※以下の画像は Windows7 の画像です。ご使用の環境によっては画面が若干異なります。

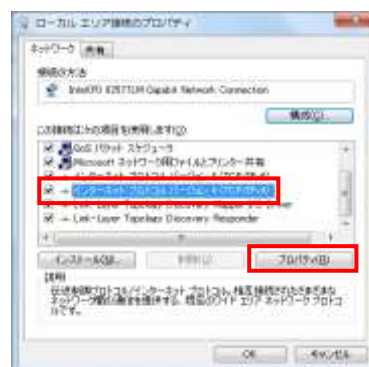
- ①キーボードの「Windows キー」  を押しながら「R キー」を押すと「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。
名前欄に **ncpa.cpl** と入力し、OK ボタンをクリックしてください。



- ②「ネットワーク接続」の画面が表示されます。
「ローカルエリア接続」を右クリックし、メニューから一番下の「プロパティ」を選択（カーソルをセットして左クリック）してください。



- ③「ローカル エリア接続のプロパティ」画面が表示されます。
項目リストから「インターネットプロトコルバージョン 4」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。

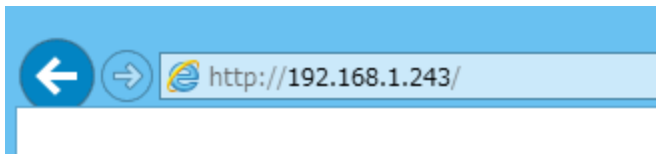


- ④ 「次の IP アドレスを使う」のラジオボタンをクリックし、「IP アドレス」欄に「**192.168.1.1**」を入力します。続いて「サブネットマスク」欄には「**255.255.255.0**」を入力します。入力完了後、OK ボタンをクリックします。



3.1.3. ログインする

ノート PC のブラウザで「<http://192.168.1.243/>」をご参照ください



DataCube2-C ログイン画面が表示されます。

下記いずれかのログイン ID とパスワードでログインしてください。



	管理者ユーザー	一般ユーザー
ログイン ID	admin	guest
パスワード	Admin-12345	Guest-1234

※パスワードは出荷時設定です。セキュリティ上、管理者ユーザーのパスワード変更を強く推奨します。

※ユーザーは管理者ユーザーと一般ユーザーがあり、管理者ユーザーのみ各種設定の変更権限を持ちます。

※一般ユーザーのパスワードは、基本設定のページから変更できます。（管理者ユーザーのみ）

3.1.4. 基本設定

DataCube2-C の基本設定を行えます。

通常の運用では設定変更を行なう必要はありません。

No	項目	内容
①	端末設定	サイト ID と端末 ID を設定します。
②	ログイン設定	ユーザーのパスワード変更が行えます。
③	モード設定	各種モードの使用設定が行えます。
	⇒ インターネット接続	インターネットの接続の有無を設定します。
	⇒ 制御を行う	PCS の出力制御を行うかどうかを設定します。
	⇒ 遠隔監視を行う	solamame、cromame のサービスを利用するかどうかを設定します。
	⇒ RIS を使う	RIS のサービスを利用するかどうかを設定します。
④	更新ボタン	それぞれ入力した設定を反映します。

※パスワードのリマインダー機能がないため、パスワードを変更される場合は、パスワードのメモや控えなどを必ず保管してください。

3.1.5. 発電所 ID を確認する

管理者ユーザーでログインし、左メニューの「制御設定」をクリックします。

「発電所 ID」に間違いがないか確認してください。

※番号が間違っていると、PCS の出力制御がご利用いただけません。

※ご不明な点や詳細等については、弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。



3.1.6. ネットワーク設定が正しく設定されているか確認する

左メニューの「ネットワーク設定」をクリックします。

IP アドレスなどに間違いがないか確認してください。

※ご不明な点や詳細等については、弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。



3.1.7. 機器間の通信が行えるか確認する

左メニューの「瞬時値テーブル」をクリックします。

時間が現在時刻と一致していることを確認してください。

※時間は、ページを表示するタイミングにより、数秒～十数秒遅れることがあります。

計測状況と故障状況が「正常」と表示されていることを確認してください。

※計測状況が「全欠測」と表示された場合は、ページの再読み込みを数回行ってください。再読み込みを行っても正常と表示されない場合や故障状況が「故障」と表示されている場合は弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。

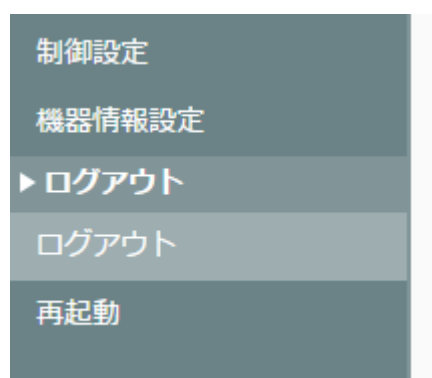
※ご不明な点や詳細等については、弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。



3.1.8. ログアウトする

左メニュー一番下の「ログアウト」をクリックするとログアウトできます。

データの閲覧や設定が終わったらログアウトしてください。



3.2. 計測データを閲覧する

各種計測データを閲覧することができます。



No	項目	内容
①	瞬時値テーブル	瞬時値を表示します。
②	1分値テーブル	1分値を表示します。
③	1時間値テーブル	1時間値を表示します。
④	スケジュール	PCS の出力制御スケジュールと出力制御履歴を表示します。
⑤	通信ログ	通信ログを表示します。

3.2.1. 瞬時値テーブル

DataCube2-C で計測した瞬時値のデータを表示します。

データ閲覧 > 瞬時値テーブル

時間 (時:分: 秒)	heat_ch (CH0000)	湿度CH (CH0001)	湿度CH2 (CH0002)	湿度CH3 (CH0003)	湿度CH4 (CH0004)	湿度CH5 (CH0005)	湿度CH6 (CH0006)	湿度CH7 (CH0007)	湿度CH8 (CH0008)	湿度CH9 (CH0009)	湿度CH10 (CH0010)
11:06:36	1		1	2	4	5	6	6	6	0.006	0.07

①

No	項目	内容
①	瞬時値データ	計測した瞬時値を表示しています ※ページにアクセスした瞬間の瞬時値を表示します。

3.2.2.1 1分値テーブル

DataCube2-C で計測したデータを 1 分ごとに保存した内容を表示します。

The screenshot shows the 'DataCube2-C' interface with the '1分値テーブル' (1-minute table) selected. The date and time are set to 2016年1月15日 11時00分 ~ 11時59分. The table below shows the following data:

時間 (時:分)	計測回数 (ch0000)	録音回数 (ch0001)	通信のイベント (ch0002)	イベント通信 (ch0003)	検出される処理 (ch0004)	通信の理由 (ch0005)	運転状態 (mode) (ch0006)	エラー (ch0007)	DC入力電圧 1 (ch0008)	DC入力電圧 1 (ch0009)	DC入力電圧 1 (ch0010)	AC入力電圧 (ch0011)
11:02	14		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:02	8		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:03	8		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:04	7		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:07	12		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:08	14		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:09	10		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:12	14		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:12	8		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:13	8		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:14	7		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:17	12		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:18	14		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12
11:19	10		1	2	4	5	0	0	0.006	0.07	8	12

No	項目	内容
①	日付選択	表示する 1 分値の日付と時間を設定します。 任意の日付と時間を入力し、「表示」ボタンをクリックすると計測データが表示されます。
②	1 分値データ	計測した 1 分値を表示しています。

3.2.3. 1 時間値テーブル

DataCube2-C で計測した 1 時間値のデータを表示します。

※ 1 時間値は出荷時に設定した項目のみ保存されます。デフォルトは全項目保存しない設定です。

時間 (時)	計測回数 (cd-000)	日保値 (cd-001)	処理 (cd-002)
01	100000000000	10.0	32.3
02	10	10.0	32.3
03	100000000000	10.0	32.3
04	10	10.0	32.3

No	項目	内容
①	日付選択	表示する 1 時間値の日付を設定します。 任意の日付を入力し、「表示」ボタンをクリックすると計測データが表示されます。
②	1 時間値データ	計測した 1 時間値を表示しています。 ※日付選択で入力した日付の 24 時間分のデータが表示されます。

3.2.4. スケジュール

PCS の出力制御スケジュールを表示します。



No	項目	内容											
①	日付選択	表示するスケジュールの日付を設定します。 任意の日付を入力し、「表示」ボタンをクリックするとスケジュールが表示されます。											
②	前日/翌日リンク	現在表示しているスケジュールの前日または翌日に移動します。											
③	スケジュール	PCS の出力制御スケジュールを表示します。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>時</th> <th>分</th> <th>固定 (%)</th> <th>更新 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">12</td> <td>00</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>100</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>固定 (%) … 年間スケジュールや月間スケジュール等、事前に計画された予定スケジュールです。各電力会社が出力制御ピーク時を予測し、予め設定を行います。</p> <p>更新 (%) … 固定スケジュールに対して、電力会社が後から変更した場合の予定となります。更新スケジュールが登録されている場合、固定スケジュールの値ではなく更新スケジュールの値で出力制御を実施することとなります。</p>	時	分	固定 (%)	更新 (%)	12	00	100	0	30	100	0
時	分	固定 (%)	更新 (%)										
12	00	100	0										
	30	100	0										
④	現在時刻	現在時刻は緑色に強調表示されます。											

3.2.5. 通信ログ

DataCube2-Cの通信ログを確認できます。

トラブル確認用の画面です。通常は使用しません。



No	項目	内容
①	ページリンク	ページリンクです。
②	通信ログ	通信ログを表示しています。

3.3. データを CSV で出力する

計測したデータを CSV 形式で出力することができます。

3.3.1. CSV ダウンロード



No	項目	内容
①	CSV ダウンロード	任意の日付を入力し、「CSV ダウンロード」ボタンをクリックすると指定した日付の 1 分値 CSV データをダウンロードできます。

※1 分値データの保存期間は 2 か月間です。それ以前のデータはダウンロードできません。

Point

1 分値データ・前日までの日報・月報・年報データは、USB メモリに CSV 形式で自動保存されており、そちらを使用することもできます。

3.4. 各種設定を行う

管理者ユーザーとしてログインすると、各種設定画面にアクセスすることができます。

※設定画面には管理者権限をもつユーザーID でログインする必要があります。

一般ユーザーでログインした場合、時刻設定のみ可能ですが、制限が付きます。



No	項目	内容
①	時刻設定	時刻を変更できます。一般ユーザーの場合、1日に±10分しか変更できません（各電力会社の遠隔出力制御技術仕様での規定）。
②	基本設定	サイトIDの設定・ユーザーのパスワード変更・各種モードの使用設定などが行えます。
③	ネットワーク設定	IPアドレスやプロキシの設定などが行えます。
④	計測設定	DataCube2-Cに接続している機器の情報を登録します。
⑤	制御設定	発電所IDを登録します。
⑥	機器情報設定	PCS定格、パネル容量を設定します。

3.4.1. 時刻設定

DataCube2-C の画面時刻を設定します。



No	項目	内容
①	日付・時刻入力欄	日付、時刻を入力します。 (一般ユーザーは時刻のみ入力可能)
②	確定ボタン	①で入力した時刻を反映します。

Point

- ・設定が反映された時点を 00 秒として時刻を開始します。
- ・ローカル計測の場合のみ、時計設定を行ってください。それ以外の場合は、時刻変更は行わないでください。

3.4.2. 基本設定

→ (P.12) 『3.1.4.基本設定』を参照下さい。

3.4.3. ネットワーク設定

DataCube2-C にはデフォルトのネットワーク情報が設定されています。

設定画面で任意のネットワーク情報を設定できます。

通常の運用では設定変更等を行なう必要はありません。



No	項目	内容
①	ネットワーク設定	IP アドレス等の設定が行えます。
②	プロキシ設定	プロキシの設定が行えます。
③	更新ボタン	それぞれ入力した設定を反映します。

Point

→ (P.10) 『3.1.2.ノート PC の IP 設定』もあわせて参照ください。

3.4.4. 計測設定

DataCube2-C に接続している機器の情報を登録できます。

通常の運用では設定変更等を行なう必要はありません。



No	項目	内容
①	機器設定	DataCube2-C に接続している機器の情報を登録できます。
②	更新ボタン	それぞれ入力した設定を反映します。

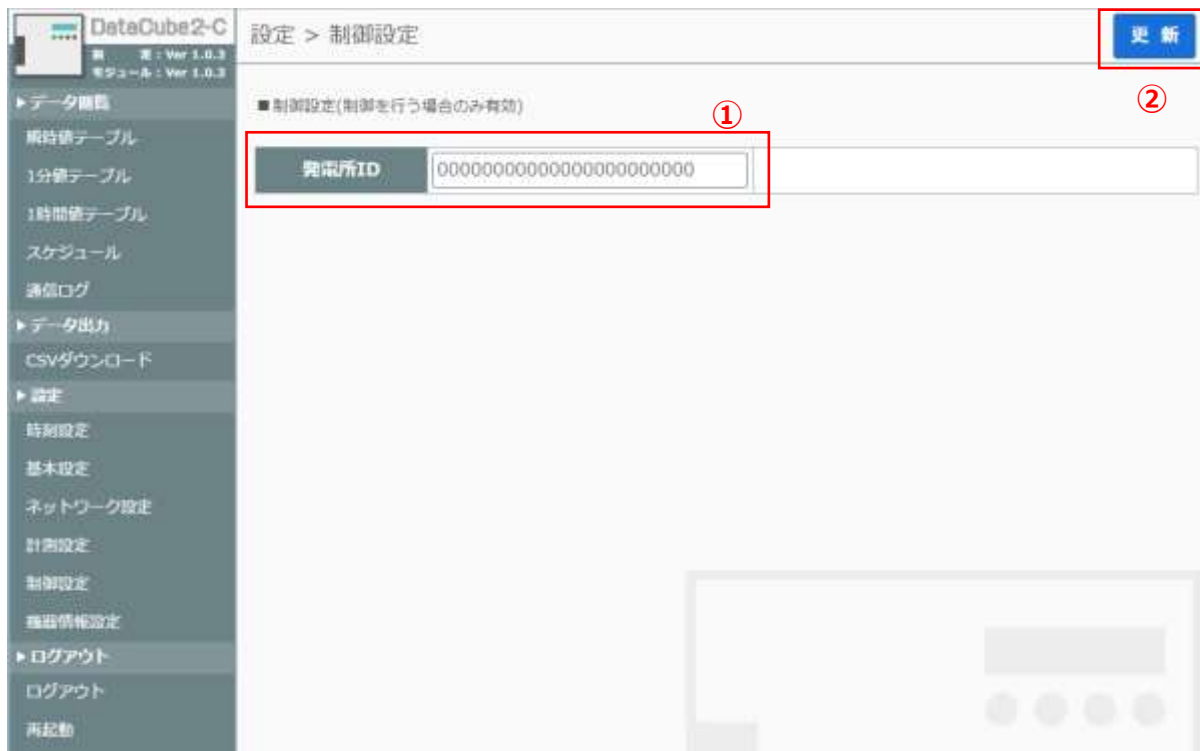
3.4.5. 制御設定

発電所 ID を登録できます。

通常の運用では設定変更等を行なう必要はありません。

※PCS の遠隔出力制御をご利用の場合は、発電所 ID の設定が必須となります。

発電所 ID が登録されていないと、遠隔出力制御の機能をご利用いただくことができません。



No	項目	内容
①	制御設定	電力会社から通達された発電所 ID を登録します。
②	更新ボタン	それぞれ入力した設定を反映します。

3.4.6. 機器情報設定

DataCube2-C で計測、制御を行う PCS の一覧が表示されます。

PCS ごとに PCS 定格容量と接続されたパネル容量を設定します。

通常の運用では設定変更等を行なう必要はありません。

※各電力会社の遠隔出力制御仕様では、PCS 定格容量とパネル容量から発電電力の制御値を計算するように定められています。PCS 定格容量とパネル容量が正確に入力されていない場合、正しい出力制御が行えません。

※DataCube2-C は制御する PCS をユニット番号で識別します。PCS に設定されたユニット番号と、入力する PCS 定格容量、パネル容量が一致していることを確認してください。

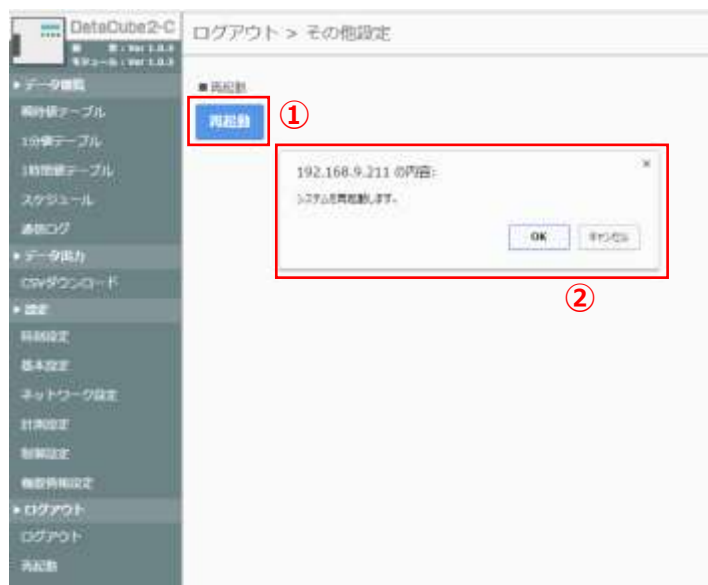
※ユニット番号の呼び方は PCS により異なります（例：スレーブ ID、ユニット ID など）PCS のマニュアルを参照してください。



No	項目	内容
①	PCS 定格容量	PCS の定格容量を入力してください。
②	パネル容量	PCS に接続されるパネルの容量を入力してください。
③	出力係数	常に一定量の出力制御を行う場合に使用します。 通常は 100 を設定してください。
④	更新ボタン	それぞれ入力した設定を反映します。

3.5. 再起動

3.5.1. 再起動



No	項目	内容
①	再起動	再起動を実行します。実行前に②の確認画面が表示されます。
②	確認画面	再起動確認です。OK を押すと再起動されます。

4. その他機能

4.1. ネットワーク設定リセット機能

DataCube2-C ではネットワーク設定がわからなくなった時に設定を初期値に戻す機能があります。以下の手順でネットワーク設定がリセットされます。

- ① Select、Enter ボタンを APP ランプが点滅開始するまで長押ししてください（約 5 秒）。
- ② APP ランプが点滅している状態で Select、Enter ボタンを押してください。
- ③ APP ランプの点滅速度が速くなり、リセット処理が開始されます。APP ランプの状態が点滅から点灯に変化するまでお待ちください（約 30 秒）。
- ④ APP ランプが点灯になったのを確認してから、再度 Select、Enter ボタンを押してください。ネットワーク設定がリセットされ、DataCube2-C が再起動されます。

リセット処理後のネットワーク設定は以下の通りです。

No	項目	初期値
①	IP アドレス	192.168.1.243
②	サブネットマスク	255.255.255.0
③	デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
④	DNS1	192.168.1.1
⑤	DNS2	192.168.1.1



カスタマーサービス

●製品の取扱方法、故障に関するご質問・ご相談は

☎ 06-6446-2110

受付時間 9:00~18:00

※土日、祝日に頂いたお問い合わせに関しましては、
翌営業日に担当者より順次ご連絡致します。